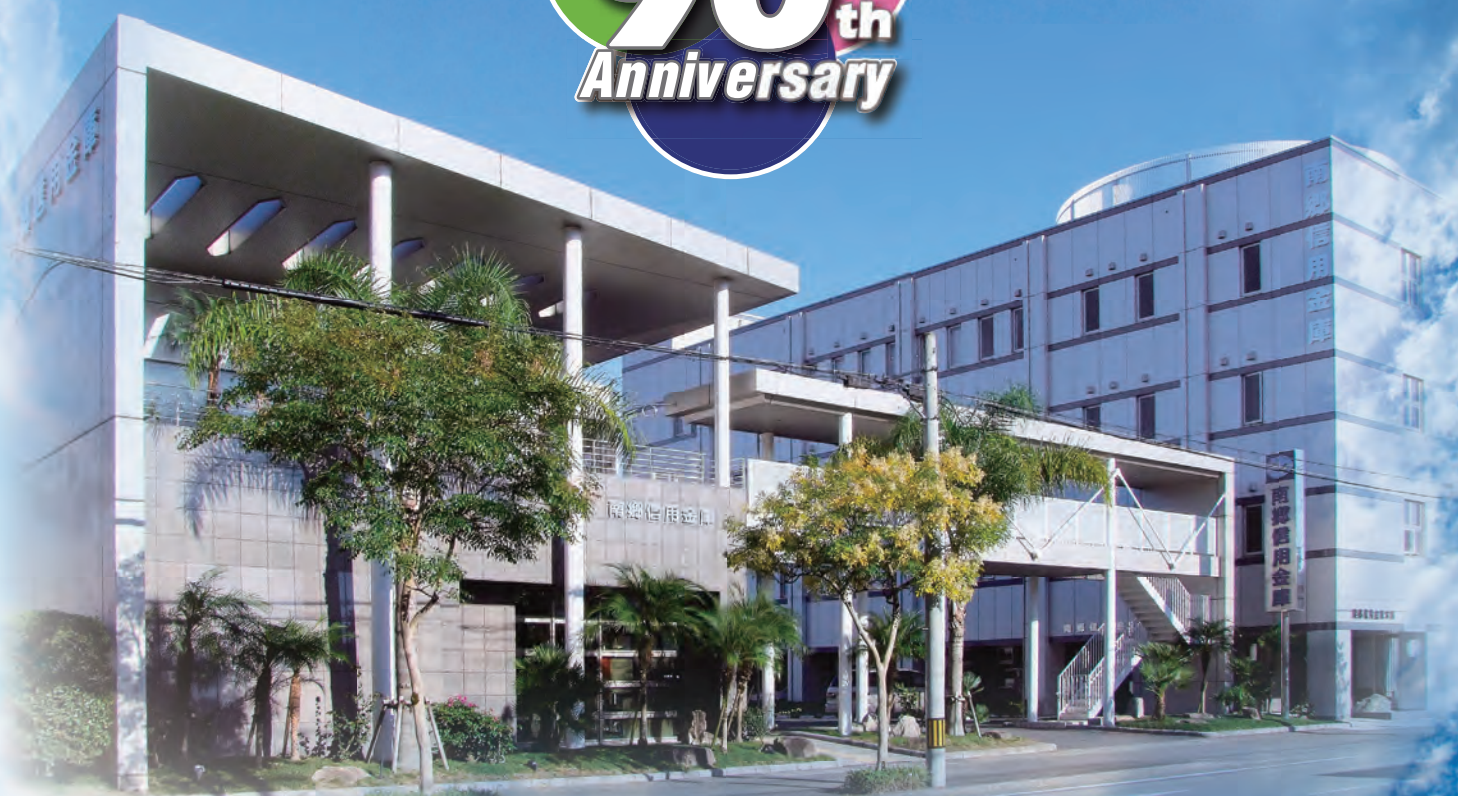


南郷信用金庫の近況

平成28年9月30日現在

なんしん ミニディスクロージャー

2016(2016年9月期)



ごあいさつ



理事長
阿部 政 廣

皆さまには、平素より「なんしん」をご愛顧いただきまして誠にありがとうございます。

本年も当金庫についてのご理解を一層深めていただくため、半期ディスクロージャー誌「南郷信用金庫の近況」を作成しましたので、ご高覧いただければ幸いに存じます。

さて、当金庫は大正15年11月に創業以来、協同組織金融機関としての理念に基づいて、地域社会の発展と住民生活の向上を願い、地域に密着した経営を基本とした業務運営を行っております。

おかげさまで業績も順調に推移し、平成28年11月に創立90周年を迎えることとなりました。

これもひとえに会員をはじめお取引いただいている皆様の温かいご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

今後も当金庫の経営理念に基づいた取組みを通じて、地域社会の「豊かな未来」を目指し、役職員一同、努力してまいりますので、一層のご支援とご愛顧を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

平成28年11月



経営理念

- ① 地域に根ざし、地域とともに歩むことを基本とする
- ② 明るい豊かな社会・経済・文化の発展に貢献する
- ③ 健全経営に徹し、地域に欠かせない金庫となる

当金庫の持つ「思いやり」と「信頼」をさらに強化し、会員をはじめ地域の方々と連携して「豊かな未来」を目指します。

経営方針

- ① 支援力・営業基盤の強化
- ② 経営力・内部態勢の強化
- ③ 組織力・人材力の強化
- ④ つなぐ力・総合力の強化

当金庫のプロフィール（平成28年9月30日現在）



創 立 大正15年11月17日
会 員 数 14,620人
出 資 金 4億67百万円
預 金 790億36百万円
融 資 374億17百万円

役職員数 113人
本 店 宮崎県日南市吾田東4丁目1番3号
店 舗 数 10店舗
営業地区 宮崎市・日南市・串間市

信用金庫の事業年度は、信用金庫法に基づき4月1日から翌年3月31日と定められており、正式な決算につきましては毎年3月31日に行っております。
「南郷信用金庫の近況」（平成28年9月30日現在）は、平成28年3月末の実績を基準にして9月末までに、それぞれの項目毎において増加・減少した数値を取りまとめたものであり、正式な決算によるものではありません。

1. 預金・貸出金の状況

■業績等の推移

(単位:百万円)

	平成28年3月末	平成28年9月末	平成28年3月末比増減
預 金 残 高	76,741	79,036	2,295
流動性残高	24,271	25,081	810
定期性残高	52,469	53,954	1,485
貸 出 金 残 高	37,352	37,417	65
預 貸 率	48.6%	47.3%	△1.3%

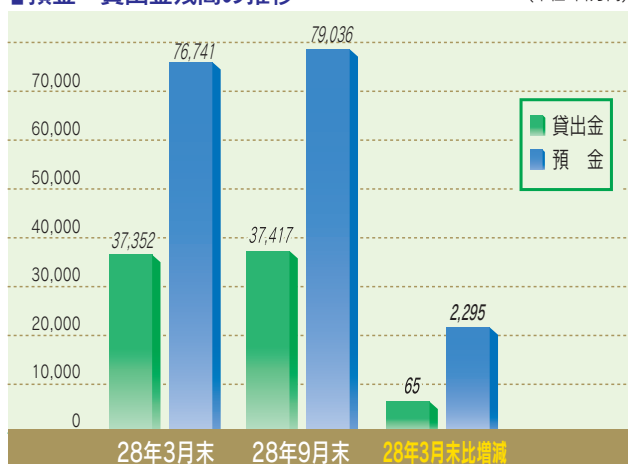
【解説】

預金については、平成28年3月末比で2,295百万円増加し、対前年同月比では1,217百万円増加しました。

貸出金については、地域経済の停滞により、資金需要の減退傾向が続く中、太陽光発電関連および個人向けローンの推進に努めた結果、平成28年3月末比で65百万円増加しました。

■預金・貸出金残高の推移

(単位:百万円)



業種別の貸出金残高と構成比

(単位:百万円、%)

	平成28年3月末			平成28年9月末		
	貸出先数	貸出金残高	構成比	貸出先数	貸出金残高	構成比
製 造 業	54	1,260	3.3	53	1,266	3.3
農 業、林 業	75	797	2.1	72	802	2.1
漁 業	23	228	0.6	21	147	0.4
鉱 業、採石業、砂利採取業	—	—	—	—	—	—
建 設 業	136	1,373	3.6	137	1,472	4.0
電気・ガス・熱供給・水道業	10	476	1.2	10	1,055	2.8
情 報 通 信 業	—	—	—	—	—	—
運 輸 業、郵便業	8	120	0.3	8	114	0.3
卸 売 業・小 売 業	113	1,534	4.1	111	1,635	4.3
金 融、保 険 業	4	1,034	2.7	4	1,036	2.8
不 動 産 業	94	6,299	16.8	94	6,588	17.6
物 品 賃 貸 業	3	112	0.2	3	126	0.3
学術研究、専門・技術サービス業	7	45	0.1	7	43	0.1
宿 泊 業	13	771	2.0	12	208	0.5
飲 食 業	66	528	1.4	64	501	1.3
生活関連サービス業、娯楽業	28	482	1.2	25	494	1.3
教 育、学 習 支 援 業	5	43	0.1	5	35	0.1
医 療・福 祉	20	624	1.6	21	621	1.6
そ の 他 の サ ー ビ ス	67	956	2.5	66	1,021	2.7
小 計	726	16,691	44.6	713	17,169	45.8
地 方 公 共 団 体	5	4,876	13.0	5	4,544	12.1
個人(住宅・消費・納税資金等)	8,165	15,784	42.2	8,195	15,703	41.9
合 計	8,896	37,352	100.0	8,913	37,417	100.0

(注) 金額については、百万円未満を切り捨てて表示していますので、それぞれの合計金額は各項目の額と必ずしも一致しない場合があります。

2. 損益の状況

(単位:百万円)

項 目	平成28年9月末
経 常 収 益	743
業 務 純 益	57
コ ア 業 務 純 益	45
経 常 利 益	88
当 期 純 利 益	62

【解説】

取引先の経営改善支援の強化及び不良債権の新規発生防止に努めた結果、経常利益を88百万円計上しました。

また、当期純利益を62百万円計上し、健全な経営を維持できる収益を確保することができました。

* コア業務純益とは業務純益から一時的な変動要因(国債等債券関係損益等)を除いた金額に一般貸倒引当金を加算した金庫の本来業務での収益力を表す指標です。

* 上記計数につきましては、監査法人による監査を受けておりません。

自己資本の状況

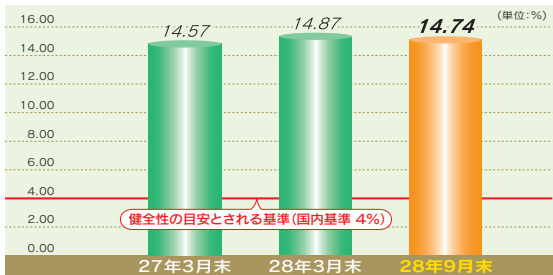
自己資本比率は、金融機関の健全性・安全性をはかる重要な経営指標のひとつです。信用金庫など国内で業務を行う金融機関は、4%以上の自己資本比率が求められています。当金庫の自己資本比率は14.74%となっており、国内基準を大きく上回る堅実な水準となっております。

自己資本比率 (国内基準)

(単位:百万円)

項 目	平成28年3月末	平成28年9月末	平成28年度増減
自 己 資 本 の 総 額	5,255	5,302	47
リスク・アセット等の合計額	35,324	35,971	647
自 己 資 本 比 率	14.87%	14.74%	△0.13%

自己資本比率



【解説】

- 自己資本の総額は平成28年3月末に比べ、47百万円増加し、対前年同月比では71百万円増加しています。
- 自己資本比率は、平成28年3月末に比べ、0.13%減少し、対前年同月比では0.02%減少しています。
- 自己資本の総額は、5,302百万円となっており、総所要自己資本額1,438百万円を大幅に上回っております。
(総所要自己資本額 = リスク・アセット等の合計額 × 4%)

$$\text{自己資本比率} = \frac{\text{自己資本の総額}}{\text{信用リスク・アセット} + \text{オペレーショナル・リスク・アセット}} = 14.74\%$$

(注) ①自己資本比率算出法は「出資金」、「諸積立金」などの自己資本の総額を分子として、「資産のリスクに応じて算出(資産 × リスク・ウエイト)したリスク・アセット合計額」及び事務事故、システム障害等で損失が生じるオペレーショナル・リスクを分母として算出されます。

②金額については、百万円未満を切り捨てて表示しています。

バーゼルⅢに係る定量情報

■ 1. 自己資本の構成に関する事項

(単位:百万円)

項 目	平成28年3月末		平成28年9月末	
		経過措置による 不算入額		経過措置による 不算入額
コア資本に係る基礎項目 (1)				
普通出資又は非累積的永久優先出資に係る会員勘定の額	5,138		5,201	
うち、出資金及び資本剰余金の額	467		467	
うち、利益剰余金の額	4,680		4,734	
うち、外部流出予定額 (△)	9		0	
うち、上記以外に該当するものの額	—		—	
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	110		95	
うち、一般貸倒引当金コア資本算入額	110		95	
うち、適格引当金コア資本算入額	—		—	
適格旧資本調達手段の額のうち、経過措置 (自己資本比率改正告示附則第3条第7項) により コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	—		—	
公的機関による資本の増強に関する措置を通じて発行された資本調達手段の額のうち、 経過措置 (自己資本比率改正告示附則第4条第3項) によりコア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	—		—	
土地再評価額と再評価直前の帳簿価額の差額の45%に相当する額のうち、経過措置 (自己資本比率改正告示附則第5条第5項) によりコア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	7		7	
コア資本に係る基礎項目の額 (イ)	5,257		5,304	
コア資本に係る調整項目 (2)				
無形固定資産 (モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。)の額の合計額	1	2	1	2
うち、のれんに係るものの額	—	—	—	—
うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るもの以外の額	1	2	1	2
繰延税金資産 (一時差異に係るものを除く。)の額	—	—	—	—
適格引当金不足額	—	—	—	—
証券化取引に伴い増加した自己資本に相当する額	—	—	—	—
負債の時価評価により生じた時価評価差額であって自己資本に算入される額	—	—	—	—
前払年金費用の額	—	—	—	—
自己保有普通出資等 (純資産の部に計上されるものを除く。)の額	—	—	—	—
意図的に保有している他の金融機関等の対象資本調達手段の額	—	—	—	—
少数出資金金融機関等の対象普通出資等の額	—	—	—	—
信用金庫連合会の対象普通出資等の額	—	—	—	—
特定項目に係る10%基準超過額	—	—	—	—
うち、その他金融機関等の対象普通出資等に該当するものに関連するものの額	—	—	—	—
うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額	—	—	—	—
うち、繰延税金資産 (一時差異に係るものに限る。)に関連するものの額	—	—	—	—
特定項目に係る15%基準超過額	—	—	—	—
うち、その他金融機関等の対象普通出資等に該当するものに関連するものの額	—	—	—	—
うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額	—	—	—	—
うち、繰延税金資産 (一時差異に係るものに限る。)に関連するものの額	—	—	—	—
コア資本に係る調整項目の額 (ロ)	1		1	
自己資本				
自己資本の額 ((イ) - (ロ)) (ハ)	5,255		5,302	
リスク・アセット等 (3)				
信用リスク・アセットの額の合計額	32,729		33,375	
資産 (オン・バランス) 項目	32,233		33,089	
うち、経過措置によりリスク・アセットの額に算入される額の合計額	△ 2,619		△ 2,399	
うち、調整項目に係る経過措置 (自己資本比率改正告示附則第8条第6項) により、なお従前の例に よるとしてリスク・アセットが適用されることになったものの額のうち、無形固定資産 (のれん及び モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。)に係るものの額	2		2	
うち、調整項目に係る経過措置 (自己資本比率改正告示附則第8条第6項) により、なお従前の例に よるとしてリスク・アセットが適用されることになったものの額のうち、繰延税金資産に係るものの額	—		—	
うち、調整項目に係る経過措置 (自己資本比率改正告示附則第8条第6項) により、なお従前の例に よるとしてリスク・アセットが適用されることになったものの額のうち、前払年金費用に係るものの額	—		—	
うち、他の金融機関等の対象資本調達手段に係るエクスポージャーに係る経過措置 (自己資本比率改 正告示附則第12条第5項又は第6項) を用いて算出したリスク・アセットの額から経過措置を用いず に算出したリスク・アセットの額を控除した額	△ 2,643		△ 2,423	
うち、上記以外に該当するものの額	21		21	
オフ・バランス取引等項目	495		286	
CVAリスク相当額を8%で除して得た額	0		0	
中央清算機関関連エクスポージャーに係る信用リスク・アセットの額	0		0	
オペレーショナル・リスク相当額の合計額を8%で除して得た額	2,595		2,595	
信用リスク・アセット調整額	—		—	
オペレーショナル・リスク相当額調整額	—		—	
リスク・アセット等の額の合計額 (ニ)	35,324		35,971	
自己資本比率				
自己資本比率 ((ハ) / (ニ))	14.87 %		14.74 %	

(注) 自己資本比率の算出方法を定めた「信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫及び信用金庫連合会が
その保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するために金融庁長官が定める基準に係る算式に基づき算出して
おります。なお、当金庫は国内基準を採用しております。

2.有価証券の時価情報

(1)売買目的有価証券 売買目的の有価証券は保有しておりません。

(2)満期保有目的の有価証券

(単位:百万円)

	種 類	平成28年3月末			平成28年9月末		
		貸借対照表計上額	時 価	差 額	貸借対照表計上額	時 価	差 額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	国 債	—	—	—	—	—	—
	地 方 債	—	—	—	—	—	—
	短 期 社 債	—	—	—	—	—	—
	社 債	—	—	—	—	—	—
	そ の 他	496	515	18	496	510	13
	小 計	496	515	18	496	510	13
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	国 債	—	—	—	—	—	—
	地 方 債	—	—	—	—	—	—
	短 期 社 債	—	—	—	—	—	—
	社 債	—	—	—	—	—	—
	そ の 他	200	199	△1	400	391	△9
	小 計	200	199	△1	400	391	△9
合 計		697	714	16	897	902	4

(注) 1. 時価は、期末日における市場価格等に基づいております。 2. 上記の「その他」は、外国証券及び投資信託等です。
3. 時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は本表には含めておりません。

(3)その他保有目的の有価証券

(単位:百万円)

	種 類	平成28年3月末			平成28年9月末		
		貸借対照表計上額	取得原価	差 額	貸借対照表計上額	取得原価	差 額
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	株式	—	—	—	—	—	—
	債券	16,696	16,072	623	16,248	15,627	620
	国債	3,294	3,104	190	3,084	2,900	183
	地方債	4,254	4,078	175	4,247	4,064	182
	短期社債	—	—	—	—	—	—
	社債	9,147	8,889	258	8,916	8,662	254
	その他	3,380	3,083	296	3,325	3,102	222
	小 計	20,076	19,155	920	19,573	18,729	843
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	株式	—	—	—	—	—	—
	債券	496	498	△2	501	505	△3
	国債	—	—	—	—	—	—
	地方債	—	—	—	—	—	—
	短期社債	—	—	—	—	—	—
	社債	496	498	△2	501	505	△3
	その他	418	427	△9	490	511	△21
	小 計	914	926	△11	992	1,017	△25
合 計		20,991	20,082	909	20,565	19,746	818

(注) 1. 貸借対照表計上額は、期末日における市場価格等に基づいております。 2. 上記の「その他」は、外国証券及び投資信託等です。
3. 時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は本表には含めておりません。

(4)子会社・子法人等株式及び関連法人等株式で時価のあるもの

該当する株式はありません。

(5)時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券

(単位:百万円)

	平成28年3月末		平成28年9月末	
	貸 借 対 照 表 計 上 額		貸 借 対 照 表 計 上 額	
市 場 価 格 の 無 い 株 式 7 社	6 4		6 4	

【解説】

国内債券におきましては、市場金利が低下したことから617百万円の評価益、外国証券や投資信託におきましては、株価の上昇や円安の影響により、評価益は201百万円、合計では818百万円の評価益となりました。

【債券の利回りと時価の関係】

債券市場において、利回りが上昇すると債券の時価は下がり、含み益が減少（含み損は増加）します。
また、逆に利回りが低下すると債券の時価は上がり、含み益は増加（含み損は減少）します。

金融再生法によるリスク債権

金融再生法に基づき開示された債権であり、当金庫の場合、貸出金のほか債務保証見返、未収利息、仮払金を含んだ債権です。

金融再生法開示債権及び保全状況

(単位:百万円)

	平成28年3月末					平成28年9月末				
	総与信額	保全状況			保全率	総与信額	保全状況			保全率
		担保・保証	貸倒引当金	計			担保・保証	貸倒引当金	計	
破綻更生債権及びこれに準ずる債権	827	661	165	827	100.0%	763	606	157	763	100.0%
危険債権	559	388	94	482	86.2%	577	413	90	503	87.1%
要管理債権	403	194	72	267	66.2%	404	199	71	270	66.8%
金融再生法上の不良債権計	1,790	1,244	331	1,576	88.0%	1,745	1,219	318	1,538	88.1%
正常債権	36,003	不良債権比率 4.74%				36,082	不良債権比率 4.61%			
合計	37,793					37,827				

※単位未満切り捨てのため合計が一致しない場合があります。

【解説】 当金庫では、経営の健全性を堅持するため、自己査定基準に則った自己査定を実施し、厳正な債務者区分の見直しを行っております。また、不良債権につきましては、十分な引当金を計上しており、安全性を確保できている内容と考えております。

地域密着型金融の取組み

当金庫では、地域経済の活性化や中小企業の金融円滑化に向け、中期経営計画『なんしんスクラム強化3か年計画』を策定し、以下を主要な柱として各種施策に取り組んでおります。

《中期経営計画『なんしんスクラム強化3か年計画』(平成27年4月～平成30年3月)》

1. 支援力・営業基盤の強化
2. 経営力・内部態勢の強化
3. 組織力・人材力の強化
4. つなぐ力・総合力の強化

○経営改善支援の取組み

平成28年度は、経営改善支援先として21先に対し改善計画の策定支援、改善アドバイス及び融資条件の変更等に積極的に取組み、財務内容の改善に努めております。

■経営改善支援等の取組実績一覧表

【28年4月～28年9月】

【28年4月～28年9月】

(単位:先数)

	期初 債務者数					経営改善支 援取組み率	ランクアップ 率	再生計画 策定率	
		うち経営改善支 援取組み先数	αのうち期末に債務者区分 がランクアップした先数	αのうち期末に債務者区分 が変化しなかった先数	αのうち再生計画を 策定した先数				
			A	α	β				γ
正 常 先 ①	526	0		0	0	0.0		—	
要 注 意 先	うちその他要注意先 ②	131	17	1	16	2	12.9	5.8	11.7
	うち要管理先 ③	5	1	0	1	0	20.0	0.0	0.0
破綻懸念先 ④	16	3	0	3	0	18.7	0.0	0.0	
実質破綻先 ⑤	25	0	0	0	0	0.0	—	—	
破 綻 先 ⑥	7	0	0	0	0	0.0	—	—	
小計(②～⑥の計)	184	21	1	20	2	11.4	4.7	9.5	
合 計	710	21	1	20	2	2.9	4.7	9.5	

(単位:%)

*債務者数、経営改善支援取組み先は、取引先企業(個人事業主を含む)であり、個人ローン、住宅ローンのみの先は含まれておりません。

○金融円滑化への取組み

地域の中小企業及び個人のお客様に対して、必要な資金を迅速かつ安定的に資金供給することは地域金融機関として最も重要な社会的使命であり、役割のひとつであると認識しています。今後もお客様からの資金需要や貸出条件の変更等のお申込みがあった場合には、これまでと同様にお客様の問題点を十分に把握したうえで、その解決に真摯に取り組んでまいります。なお、金融円滑化に係る詳しい取組状況及び実績等につきましては、金庫ホームページまたは営業店窓口で縦覧ください。

◇再生支援の取組み

平成28年度上期における再生支援については、中小企業再生支援協議会及び経営改善支援センター、みやざきフードビジネス相談ステーション等と連携し、12先について事業再生に向け取組み中です。

◇多重債務者問題への取組み

多重債務に悩むお客様からのご相談に対応するため、「おまとめローン」の取扱いを行っております。また、電話(平日9:00～18:00)及び営業時間外(毎週火、木15:00～19:00油津支店、北郷支店)にローン相談窓口を設置し、相談し易い態勢を整備しております。

◇お客様満足度向上への取組み

金庫内において研修会等を開催し、接客マナーの向上や説明態勢の強化に努めるとともに、多様なローン相談窓口を開設し、利便性の向上に努めています。また、優遇金利定期預金や低金利ローンの取扱いなど、お客様のニーズに応えられる商品の提供を心がけております。

今後もアンケート調査等により、お客様満足度を把握するとともに、お客様に満足いただける商品開発やサービスの向上に努めてまいります。



パートナーシップ研修会



夜間ローン相談窓口

なんしん
フリーローン
エクセレント

たよれる
フリーローン
新登場!

固定金利・保証料含む
年利
5.8%~

返済期間
ゆったり
最長
15年
らくらく返済

ご融資金額
500万円
までのご融資

返済時年齢
満80歳
までOK

ご返済をひとまとめに
お使いみち自由!
借り換えもOK

主幹・パート・アルバイトの方もOK!
(1000円以上)

24時間お申し込みOK!!
FAX 0987-21-1119
お申し込みは24時間受付です。

CSR(企業の社会的責任)への取り組み

当金庫は、地域金融機関として経済的な貢献活動に止まらず、社会的・文化的な貢献活動にも積極的に取り組むことが重要と考えており、以下の取り組みを行っております。



「エコみらい定期」の取組み



献血運動への参加



地域美化推進運動



「エコみらい定期」の取組み



献血運動への参加



グランドゴルフ大会の開催

環境問題への取組み

- 「エコみらい定期」の発売
小中学校の環境問題への取組み支援
- 「エコ・カーライフプラン」の発売
- 「エコ住宅」の住宅ローン金利優遇
- 「エコ・リフォームローン」の発売
- クールビズ、ウォームビズの実施
- 電力使用量削減への取組み

その他の主な取組み

- 視覚障がい者に配慮した金融サービスの提供
- AED(自動体外式徐細動器)の設置
- 地域で開催されるイベントや祭りへの参加、協賛金の提供
- 店舗周辺道路の清掃、公園・広場の美化活動
- ボーイスカウト活動への支援 など

※CSR(Corporate Social Responsibility)地域貢献や社会貢献等の社会的な行動を通じて、企業としての責任を果たし、社会から信頼を得ていくことです。

トピックス TOPICS

日南共創活性化プロジェクトについて ～活力ある街づくりに向けて～

27年7月から、地元商店にご参加をいただき、商店街の集客力アップや地域の中でお金が回る仕組みづくり、いわゆる「地域マッチング(地域おこし)」の取り組みを開始いたしました。

その主な取り組みは、オリジナル情報誌「しんきん感」を定期的に発行し、地域のイベント紹介やお得な生活情報の提供、有利な金融商品のご案内を継続的に発信しております。

さらに、職域サポート制度で契約の従業員様やご家族を対象に、協賛店を利用されると、様々な特典が受けられる「地域応援パスポート」の発行を行っておりますので、活動の趣旨にご賛同いただき、是非ともご利用賜りますようお願いいたします。

今後も、こうした活動を通じて活力ある街づくりに向け、積極的に取り組んでまいりたいと考えておりますので、皆様方のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



○日南市との包括的連携協定について

平成28年9月13日、日南市と当金庫双方の資源を活用した協働による活動を推進し、もって地域の活性化及び市民サービスの向上に資することを目的として包括的連携協定を締結しました。

※具体的な取組み内容

- 1.日南市の地域活性化及び市民サービスに資する事業(補助制度)と当金庫の融資商品との連携
- 2.マイナンバーカードの普及啓発
- 3.認知症サポーターの養成
- 4.婚活イベントなど地域活性化イベントの共同開催



おかげさまで90周年

なんしん



創立90周年記念キャンペーン

平成28年9月1日(木)～平成28年12月30日(金)

預入期間 1年

優遇金利付・懸賞品付・定期預金

なんしんのとってもおトクな
定期預金「サックス90」誕生。
この機会にどうぞ。

サックス90「感謝賞」

預入金利

0.09%

預入金額…10万円～1,000万円未満

※原則ニューマナーですが、直轄継続分については書替金額の10%以上をプラスでお取扱いただけます。
※預入対象者…個人並びに個人事業主(除法人)

※募集総額30億円

※中途解約については…ご契約いただいた満期日までに中途解約された場合、通常適用される中途解約利率のお取扱いとなります。

サックス90「ギフト賞」

1等

ダイソン
掃除機
(5万円相当)

※賞品の写真はイメージです。

2等

レイコップ
ふとんクリーナー
(3万円相当)

※賞品の写真はイメージです。

3等

えびの産
ひのひかり
(10kg)

※賞品の写真はイメージです。

A賞

蟹(つなぐ)
コース
(6,000円相当)
※蟹カATALOGの中から
1点お選びいただけます。

※賞品の写真はイメージです。

B賞

絆(きずな)
コース
(3,000円相当)
※絆カATALOGの中から
1点お選びいただけます。

※賞品の写真はイメージです。

店舗のご案内

営業店自動機コーナー

地区	店舗名	住所	TEL	FAX	ATM		
					平日	土・日・祝	振込機能
日南地区	本店	日南市吾田東4-1-3	0987-23-1211	0987-23-1333	8:00~20:00	9:00~17:00	有
	目井津支店	日南市南郷町中村乙4851	0987-64-1131	0987-64-1202	9:00~20:00	9:00~17:00	有
	駅前支店	日南市南郷町東町18-5	0987-64-1133	0987-64-1654	8:00~20:00	9:00~17:00	有
	油津支店	日南市園田2-1-25	0987-23-5315	0987-23-5316	8:00~20:00	9:00~17:00	有
	飢肥支店	日南市飢肥2-12-1	0987-25-1101	0987-25-1102	8:00~20:00	9:00~17:00	有
	大堂津支店	日南市大堂津3-5-18	0987-27-0149	0987-27-1337	9:00~20:00	9:00~17:00	有
	北郷支店	日南市北郷町郷之原乙1429	0987-55-2222	0987-55-2223	8:00~20:00	9:00~17:00	有
串間地区	串間支店	串間市大字西方6556	0987-72-0401	0987-72-1301	8:00~20:00	9:00~17:00	有
宮崎地区	木花支店	宮崎市大字熊野10152-4	0985-58-1155	0985-58-1124	9:00~20:00	9:00~17:00	有
	田野支店	宮崎市田野町甲2877-14	0985-86-2333	0985-86-2334	9:00~20:00	9:00~17:00	有

店舗外自動機コーナー

日南地区	日南ショッピングセンター	日南市材木町1番	無	無	9:30~20:00	9:30~19:00	無
串間地区	北方自動機コーナー	串間市大字串間1460-4	無	無	9:00~20:00	9:00~17:00	有
	本城自動機コーナー	串間市大字本城6043-1	無	無	9:00~18:00	休 止	有

◆当金庫へのお問い合わせについて

- 当金庫に対するご意見・ご要望がございましたら、下記の相談窓口までお気軽にご連絡下さい。
南郷信用金庫「お客様相談室」 TEL0987-21-1115 FAX0987-21-1118

[URL] <http://www.shinkin.co.jp/nanshin/> フリーダイヤル 0120-881-992



みんななかよし 親近 ハートフル なんしん



南郷信用金庫

〒887-0041 日南市吾田東4丁目1番1号
TEL.0987-21-1115 FAX.0987-21-1118
<http://www.shinkin.co.jp/nanshin/>